



キャンプなどの際、木々の間にラインを渡し、ものを吊るす場合があります。1本のラインのままでも使えるのですが、吊るす位置を動かさないように輪を作っておくと便利です。

ラインの途中で簡単に輪を作る方法の紹介です。このやり方で輪を作るとしっかりと輪が固定されているので、ラインを強く張っても輪の大きさは変わりません。

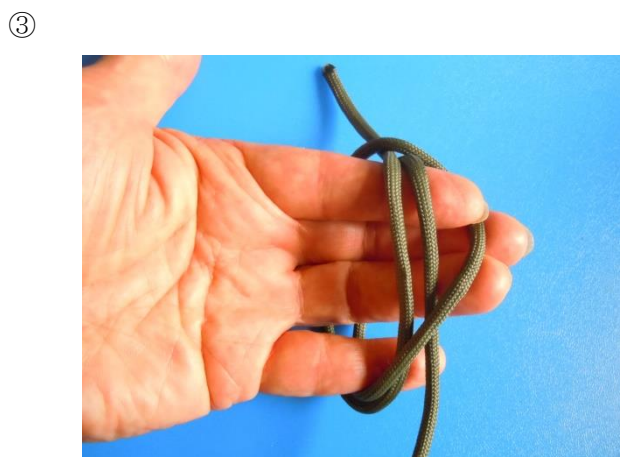
長いロープの途中にこの輪をつけておくと急な斜面を登るときの手掛かりにすることができるなどさまざまな用途があります。

右の写真は結びの表裏を見たものです。ラインに対してしっかりと結ばれていることがわかります。



結び方

- ① 左の掌に親指側からコードを3回巻き付けます。
- ② 一番左側のコードを掌に巻いてある真ん中へ移動させます。
- ③ 一番左側になったコードを指の先に持っていき、指先でつまんで、掌に巻いていた輪の中から引き抜きます。



出来上がり

